

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 3月15日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 4691600037 |
| 法人名 | 社会福祉法人 豊生会 |
| 事業所名 | グループホーム 曾於 |
| 所在地 | 鹿児島県曾於市財部町南俣99-1 (電話) 0986-72-3034 |
| 自己評価作成日 | 平成24年1月6日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉21かごしま |
| 所在地 | 鹿児島市真砂町54番15号 |
| 訪問調査日 | 平成24年2月6日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

静かな自然環境に恵まれており、公園や川が流れており整備された遊歩道など、四季を身近に感じる事が出来、市道から距離がある為、交通量も殆どありません。敷地内には無農薬の野菜畑や花を栽培しており、利用者の方々と収穫の喜びを感じることができます。又、集落に加入する事により、地域との交流が深まった。

【外部評価で確認した事業所の優れている点,工夫点 (評価機関記入)】

明るくゆったりとしたリビングからは、隣接した公園を眺めることができ、自然に恵まれ四季を身近に感じることができる。敷地内には野菜や花が栽培され、あずま屋やテラスも設置されて日当たりの良い散策に適した環境である。

- 理念を基に、利用者が地域の中でその人らしく暮らせるように、利用者の現状に沿って毎月目標を設定して支援に取り組み、月末には目標の達成度を評価して、より良いケアの実現を目指している。
- ホームで開催する夏祭りや敬老会には家族や地域の方々に参加して頂くと共に、自治会に参加して「いきいきサロン」や地域の祭り・幼稚園の運動会・社協主催の講演会等への参加や、災害時を想定した炊き出しの訓練や交通安全週間の児童の見守り、清掃活動への参加など地域との交流は深いものがある。
- 管理者は、職員の意見や提案・気付きを、業務改善やサービスの質向上に結びつけるために、日頃より話しやすい雰囲気作りに努めると共に、対応はケアの現場で職員と十分連携して進める仕組みを築いている。
- 本人や家族の希望を最優先して従来のかかりつけ医の受診を看護師同行のもとで行い、主治医と十分に情報交換して受診経過を家族とも十分に情報共有しており、家族や利用者の安心につなげている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(さくらユニット) | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 毎朝の申し送りや日々の業務の中で個々が理念を確認し介護に取り組んでいる。又理念は玄関、事務所に掲示するなど職員のみでなく来苑者にも理解してもらえるようにしている。 | 理念を基に、利用者が地域の中でその人らしく暮らせるように、利用者の現状に沿って毎月目標を設定して支援に取り組むと共に、月末にはミーティングで目標の達成度を評価して、より良いケアの実現を目指している。理念は玄関やホールに掲示し、朝礼で確認して理解を深めるよう努めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 自治会のいきいきサロンや福祉協議会主催の講演会、市や町主催の祭りや豊作祭、幼稚園の運動会の見学や参加をしている。また清掃活動や交通安全週間の児童の見守りをおこなっている | ホームで開催する夏祭りや敬老会には家族や地域の方々に参加して頂くと共に、自治会に参加して「いきいきサロン」や地域の祭り・幼稚園の運動会・社協主催の講演会等に積極的に出かけて交流を図っている。また、災害時を想定した炊き出しの訓練や交通安全週間の児童の見守り、清掃活動への参加など地域とも交流の機会が多い。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 地域の様々な研修、会合に関わりながら少しずつではあるが認知症ケアの啓発を努めている | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者、利用者の家族、役所介護保険課、社会福祉協議会、民生委員、ボランティアの方々の参加協力を得て活動報告を行っている。又意見に対しては情報を共有して改善や実践に取り組んでいる | 会議は利用者や家族・地域住民・民生委員・行政の職員・町のボランティア会長等関係者が多く参加して定期的に開催されている。事業所の現況や行事の報告・外部評価結果の報告及び問題点に関する意見交換が活発に行われ、会議での意見や提案を職員で共有してサービス向上に活かしている。ここでの話し合いで、利用者の話し相手としてのボランティアの(月2回)来訪が実現している。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>運営推進会議や市町村、地域の様々な行事に参加して事業者としての協力関係が持てるように取り組んでいる</p> | <p>市担当者には入退所の手続きや認定更新の手続きの相談に助言・対応して頂くと共に、事業所の実情やケアサービスの取り組み等を電話や直接訪問で伝え、協力関係を築くように努めている。また、社会福祉協議会の講演会等にも積極的に参加して連携を深めている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>個人の意思を尊重しながら、生命を脅かす行為でない限り抑制しないようにしている。又認知症に対する言葉かけや見守りなど研修参加や勉強会を開いて理解するようにしている。</p> | <p>利用者の意思や行動パターンの把握に努め、危険防止に配慮して、特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々の申し送り時に確認してケアへの反映に努めている。また、身体拘束や認知症に関する研修や勉強会で職員の理解を深めると共に、職員の見守りのもと、玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を実現している。地域の方々にも見守りや声かけをしてもらえる関係づくりを図っている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>日々の申し送りのときにその日のケアを振り返り気持ちの押さえつけや抑圧間がないかミーティングして次のケアに繋げている</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>研修は参加しているが対象者がいないこともあり充分でないの で職員間の勉強会などを行い理解を深めていきたい</p> | | |

| | | | | | |
|----|---|---|---|--|--|
| 9 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約等に関しては利用者、家族の立場に立ち、契約書類を説明して、不安が無いように対応している。</p> | | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>毎月の手紙、訪問時や家族会などで常に問いかけ何でも言っで貰えるような雰囲気づくりに留意している。又玄関に意見箱を設置している</p> | <p>利用者の思いや意見は日常会話を通じて把握に努め、ご家族とは訪問時の対話や電話、年1回の家族会等で意見や希望を頂いている。それらを朝礼や毎月のミーティングで全職員が共有して、サービスに具体的に反映できるように努めている。利用者の様子やホームの取り組み状況については、毎月の便りや訪問時の対話・電話等で家族に連絡している。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>事業所としての運営方針の会議の後は必ず翌日に職員に情報を伝えている。全体ミーティング、勉強会では意見を聞くようにしている。</p> | <p>管理者は、職員の意見や提案を朝礼や毎月のユニットミーティング・全体ミーティングで聞き取り、業務改善やサービスの質向上に努めている。職員の気づきは申し送りノートに記録してもらうなど、日頃より話しやすい雰囲気作りに努めると共に、対応はケアの現場で職員と連携して確認を取りながら進めるように取り組んでいる。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>食後すぐに利用者の徘徊が始まったり時間を決めての休憩は難しいときがある。勤務希望や有休の取得は可能な限り調整している。</p> | | |

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| 13 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修の情報を収集して希望の職員が受講できるようにしている。研修レポートは何時でも読めるようにファイルして、研修で学んだ介護術などは実際指導者になってもらい、研修効果を図っている</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡協議会の会議に参加したり近隣の市町村主催の研修にも参加して交流を持ち自己啓発の機会を持っている</p> | | |

| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
|---------------------|---|---|--|--|
| 15 | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前面談などにより本人の生活状況や家族からの情報提供を受けて安心して入所されるように職員間でも情報を共有して信頼関係が築けるようにしている | | |
| 16 | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 相談に来られた時、話しを傾聴し他の利用者の生活状況なども見学して頂き、安心して入所して頂ける様にしている | | |
| 17 | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談や見学に来られた時柔軟に相談にのり「今どうしたらよいか、何処に相談に行ったら良いか」アドバイスしている | | |
| 18 | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者の得意な事を学んだりして支え合う関係を築いている。又、話題を提供し利用者が話やすいように配慮している。 | | |

| | | | | |
|----|---|--|---|--|
| 19 | <p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>1回／月の手紙で日々の暮らしを近況報告して、本人の希望がある時は電話して話して頂いたり面会をお願いをしている</p> | | |
| 20 | <p>8</p> <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>美容室や地域のサロン、地区の祭りなどは参加して関係が途切れないようにしている</p> | <p>入所時の聞き取りやご家族の来訪時に利用前の情報を把握し、馴染みの美容室や商店への同行等を可能な限り支援している。また、電話や手紙の取り次ぎと共に、家族や友人・知人の来訪時にはゆっくりと過ごせるように配慮している。外出先での知人からの情報や実施した支援内容は支援経過記録に残し関係継続に努めている。</p> | |
| 21 | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>個人のこれまでの生活歴や性格を尊重し支援している</p> | | |
| 22 | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>他施設への移設や入院などの時は面会に出かけ、その時の状態や状況を他の職員にも情報を提供して共有してもらっている</p> | | |

| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
|-----------------------------|----|--|---|--|
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の行動や言動から「思いや希望」をくみ取れるように一人の意見だけでは無く全職員の意見も聞いている | ご家族からの聞き取りや毎日の生活の中で思いや希望をくみ取るように努め、支援経過記録やケース記録・申し送りノートに記録を残すと共に、本人の暮らしに何が最良かを管理者と職員が十分に意見交換して対応を決めている。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族からの情報や会話のなかからこれまでの生活や暮らしぶりなど情報を共有している | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 会話や行動の中から本人の心身状態から「出来る事, したいこと」をくみ取るようにしている | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画の見直しやモニタリングは利用者や家族のみでなく全職員の気づきを意見としてとりいれている | 介護計画は、利用者本人・家族・主治医等の関係者との十分な話し合いや情報交換に基づき利用者本位のものを作成している。また、定期的な評価や見直しとともに、利用者や家族の要望や変化に応じて、職員の意見や気づきも反映した計画修正を適切に行っている。 |

| | | | | | |
|----|----|---|--|--|--|
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>個別記録や申し送りノートで情報を共有して実践、見直しをしている</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>通院など必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるようにしている。昼、夕食事に面会に来られた時、家族の意向に配慮しながら食事の提供も声かけしている</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>ボランティアの方に2回/月来て頂いて話し相手や歌など楽しんで頂き外部との関係が存続できるようにしている</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>入所前からの主事医に受診している。受診時には介護記録やバイタルチェック表を持参してホームでの生活状況を情報提供している</p> | <p>利用前の受診状況の把握により本人や家族の希望を最優先して、従来のかかりつけ医の受診を支援している。受診時は「入所者バイタル・排泄・食事チェック表」を看護師が持参し、必要に応じて家族も同行して主治医と情報交換し、支援経過記録に受診経過を残して家族とも十分に情報を共有している。</p> | |

| | | | | |
|----|--|--|---|--|
| 31 | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>看護師が毎朝介護職員からの情報をもとに状態の確認と必要な看護、処置、医療機関の受診を支援している</p> | | |
| 32 | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時に本人の支援方法を医療機関に提供し3～5日に1回は職員が見舞うようにしている。家族とも回復状況などの情報交換を密にして早期の退院支援に結び付けている</p> | | |
| 33 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>本人や家族の意思（思い）を尊重しながら早い段階から家族にホームとして出来ることを説明している。</p> | <p>重度化や終末期のケアについては、入居時に「看取りに関する指針」を基に、看取り介護実施の定義について本人や家族に十分説明し、その意向を最大限大切に同意を得ている。また、状況の変化にもホームとして医師及び医療機関と連携を図り、可能な限り支援・対応できるように体制を築いている。</p> | |
| 34 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>消防署主催の急変時、事故発生時にそなえての応急処置の研修に参加している</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|--|---|--|
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>非難訓練は実際に消防署から来て頂き通報から非難終了までの一連の流れの訓練を行い助言も頂いている</p> | <p>消防署と連携のもと、年1回の火災・地震を想定した避難訓練の他、夜間想定 of 自主的な避難訓練を年3回実施している。また、スプリンクラーの設置や食料・水の備蓄にも十分に配慮され、運営推進会議では地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。</p> | |
|----|----|---|--|---|--|

| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
|---------------------------|----|---|--|---|
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>本人や家族から得た生活歴や情報を基にして個人を尊重した声かけを行っている。又、入職時には守秘義務について説明、同意を得て雇用契約している</p> | <p>ホームでの日常生活の中で、利用者一人ひとりの誇りや人格を尊重できるように、「ありがとう」の声かけの徹底や命令口調や大声の防止に配慮した本人本位のケアの実現に努めている。また、雇用契約の際には守秘義務について同意を得ると共に、個人記録の管理や居室の保護にも徹底した対応に取り組んでいる。</p> |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>利用者の個々に合わせた声かけを行い言動や表情から反応を注意深く汲み取るようにしている</p> | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>基本的な1日の流れはあるが、その日のコンディションや表情をみながら対応して、本人のサインを読み取り休息場面（午睡）を作るなど個別対応に努めている</p> | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>朝の着替えなどは、個々の生活習慣に合わせ支援している。本人の馴染みの理美容院で希望に合わせたカット、毛染めをしてもらえるように連携をとっている</p> | |
| 40 | 15 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>苑庭で作っている野菜の皮むきなどしてもらいそれを食材とした献立にして対応している。昼食は同じテーブルを囲み楽しんで食事できるよう雰囲気づくりも大切にしている。</p> | <p>日常会話で把握した利用者の好みを献立や味付け、調理法に反映させて楽しみながら食事できるように工夫している。また、菜園での野菜の収穫や買い物・調理・食卓の準備や後片付けなど、利用者と一緒にできることを支援している。クリスマスや誕生会等の特別メニューや外食など、利用者の楽しみにつながる工夫も行っている。</p> |

| | | | | |
|----|--|---|---|--|
| 41 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 普段から利用者の好みや習慣、様子を把握しながら体調や運動量、体重の増減、食事のタイミング、トロミの使用など介助方法や食器の工夫など一人ひとりに対応している | | |
| 42 | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自分で出来る方は声かけして、できない方は毎食後のうがいや歯磨きを支援して嚥下障害による肺炎防止に努めている | | |
| 43 | 16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄チェック表を使用して尿意のない利用者にも間隔を見て、トイレ誘導することにより、トイレで排泄できるように支援している。 | 利用者の様子観察や排泄チェック表を上手に活用して、利用者それぞれの排泄パターンを把握できるように努め、可能な限りトイレで排泄できるように支援している。全ての居室にはトイレが設置され、早めにさり気なくトイレに誘導することと合わせて、羞恥心や不安の軽減につながっている。 | |
| 44 | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄パターンを記録し、牛乳やヨーグルトなどで十分な水分補給と繊維質の多い食材を使用した献立を提供している。 | | |

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | その日の体調や気分を表情から汲み取るようにしている. 拒否される方に対しては言葉かけや対応の工夫やチームプレイなどによって人ひとりに合わせた支援を試みている | 利用者の体調や健康状態・希望によって異なるが、原則として毎日入浴可能である。安全面に十分配慮して、できるだけゆっくりと時間をかけて入ってもらよう支援している。入浴を拒否されるような場合には、職員で連携を図り声かけや対応を工夫している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | なるべく日中に活動をレク参加などにより生活リズムを整えている。又、寝付けないときは添い寝をしたり暖かい飲み物などを提供している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 毎回受診時の薬事情は個人ファイルにして保管しており全職員がわかるようにしている。処方の変更があった場合はおこり得る副作用、状況の変化を記録して看護師、医師に提供している | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 食事の前後のテーブル拭き、下膳やお盆拭き、野菜のそうじ、皮むき、苑庭の草とりなど利用者の経験や知恵を發揮できる場面を作っている | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 本人のその日の状態をみながら講演会や地域の祭り、外食の外出など気分転換やストレス発散、地域との繋がりが維持されるように支援している | 日常的に天候の良い日には、園庭のあずま屋でのお茶会・日光浴や庭いじり・近隣の散歩やドライブ等を楽しむと共に、時にはチラシ情報を基にした道の駅やスーパーでの買物、地域のイベント参加など、利用者の好みに合わせて外出する機会が多い。車いすの利用者も福祉車両を利用して、可能な限り楽しく外出できるよう工夫・支援に努めている。 | |

| | | | | |
|----|--|---|---|--|
| 50 | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>自分で管理できる利用者は、小額を所持してもらい買い物の支払いは支援している。お金の有る安心感、満足感があるようにしている</p> | | |
| 51 | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>会話の中で家族の心配が伺われる時は電話し話して頂いている</p> | | |
| 52 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>天気の良い時はテラスやあずまやで日光浴やお茶会などして生活感や季節感を味わえるように支援している</p> | <p>隣に公園がある園庭はあずま屋も設置され、季節を感じながらゆっくり過ごせる環境である。共用空間は利用者と職員で折り紙や貼り絵・ぬり絵、観葉植物などが飾られ、明るくて室温や湿度にも配慮された居心地の良いスペースになっている。</p> | |
| 53 | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>テーブル、ソファ、畳敷きのスペース等各自おもい思いの場所で過ごせるように配置に配慮している。季節の花など飾り家庭的な雰意気が持てるように支援している</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>馴染みの物を利用することが利用者が安らぎを得ることを家族にも理解して頂き可能な限り鏡、時計、タンス、ベッドなど持ってきて頂き自宅と変わらない環境作りに努めている</p> | <p>居室は畳部屋と洋室に分かれているが、全室洗面台・トイレ・エアコンが設置されている。部屋に置かれているテレビ・タンス・椅子・写真・ぬいぐるみなどは、本人やご家族の希望のものを自由に持ち込んでもらい、自分の部屋として本人が落ち着いて過ごせる環境となるように支援している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>状態が変わり新たな混乱や失敗が生じたときはその都度、職員間で話しあい本人の不安、混乱原因を出来るだけ取り除き安全な生活が送れるように支援している</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 毎朝の申し送りや日々の業務の中で個々が理念を確認し介護に取り組んでいる。又理念は玄関、事務所に掲示するなど職員のみでなく来苑者にも理解してもらえるようにしている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会のいきいきサロンや福祉協議会主催の講演会、市や町主催の祭りや豊作祭、幼稚園の運動会の見学や参加をしている。また清掃活動や交通安全週間の児童の見守りをおこなっている | | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 地域の様々な研修、会合に関わりながら少しづつではあるが認知症ケアの啓発を努めている | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者、利用者の家族、役所介護保険課、社会福祉協議会、民生委員、ボランティアの方々の参加協力を得て活動報告を行っている。又意見に対しては情報を共有して改善や実践に取り組んでいる | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 運営推進会議や市町村、地域の様々な行事に参加して事業者としての協力関係が持てるように取り組んでいる | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 個人の意思を尊重しながら、生命を脅かす行為でない限り抑制しないようにしている。又認知症に対する言葉かけや見守りなど研修参加や勉強会を開いて理解するようにしている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 日々の申し送りのときにその日のケアを振り返り気持ちの押さえつけや抑圧間がないかミーティングして次のケアに繋げている | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 研修は参加しているが対象者がいないこともあり充分でないので職員間の勉強会などを行い理解を深めていきたい | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約等に関しては利用者、家族の立場に立ち、契約書類を説明して、不安が無いように対応している。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>毎月の手紙、訪問時や家族会などで常に問いかけ何でも言って貰えるような雰囲気づくりに留意している。又玄関に意見箱を設置している</p> | | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>事業所としての運営方針の会議の後は必ず翌日に職員に情報を伝えている。全体ミーティング、勉強会では意見を聞くようにしている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>食後すぐに利用者の徘徊が始まったり時間を決めての休憩は難しいときがある。勤務希望や有休の取得は可能な限り調整している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修の情報を収集して希望の職員が受講できるようにしている。研修レポートは何時でも読めるようにファイルして、研修で学んだ介護術などは実際指導者になってもらい、研修効果を図っている</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡協議会の会議に参加したり近隣の市町村主催の研修にも参加して交流を持ち自己啓発の機会を持っている</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前面談などにより本人の生活状況や家族からの情報提供を受けて安心して入所されるように職員間でも情報を共有して信頼関係が築けるようにしている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 相談に来られた時、話しを傾聴し他の利用者の生活状況なども見学して頂き、安心して入所して頂ける様にしている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談や見学に来られた時柔軟に相談にのり「今どうしたらよいか、何処に相談に行ったら良いか」アドバイスしている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者の得意な事を学んだりして支え合う関係を築いている。又、話題を提供し利用者が話やすいように配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 1回/月の手紙で日々の暮らしを近況報告して、本人の希望がある時は電話して話して頂いたり面会のお願いをしている | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 美容室や地域のサロン、地区の祭りなどは参加して関係が途切れないようにしている | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個人のこれまでの生活歴や性格を尊重し支援している | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 他施設への移設や入院などの時は面会に出かけ、その時の状態や状況を他の職員にも情報を提供して共有してもらっている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の行動や言動から「思いや希望」をくみ取れるように一人の意見だけではなく全職員の意見も聞いている | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族からの情報や会話のなかからこれまでの生活や暮らしぶりなど情報を共有している | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 会話や行動の中から本人の心身状態から「出来る事, したいこと」をくみ取るようにしている | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画の見直しやモニタリングは利用者や家族のみでなく全職員の気づきを意見としてとりいれている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録や申し送りノートで情報を共有して実践、見直しをしている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 通院など必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるようにしている。昼、夕食事に面会に来られた時、家族の意向に配慮しながら食事の提供も声かけしている | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの方に2回/月来て頂いて話し相手や歌など楽しんで頂き外部との関係が存続できるようにしている | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入所前からの主事医に受診している。受診時には介護記録やバイタルチェック表を持参してホームでの生活状況を情報提供している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師が毎朝介護職員からの情報をもとに状態の確認と必要な看護、処置、医療機関の受診を支援している | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時に本人の支援方法を医療機関に提供し3～5日に1回は職員が見舞うようにしている。家族とも回復状況などの情報交換を密にして早期の退院支援に結び付けている | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 本人や家族の意思(思い)を尊重しながら早い段階から家族にホームとして出来ることを説明している。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署主催の急変時、事故発生時にそなえての応急処置の研修に参加している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 非難訓練は実際に消防署から来て頂き通報から非難終了までの一連の流れの訓練を行い助言も頂いている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 本人や家族から得た生活歴や情報を基にして個人を尊重した声かけを行っている。又、入職時には守秘義務について説明、同意を得て雇用契約している | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の個々に合わせた声かけを行い言動や表情から反応を注意深く汲み取るようにしている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日の流れはあるが、その日のコンディションや表情をみながら対応して、本人のサインを読み取り休息場面(午睡)を作るなど個別対応に努めている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 朝の着替えなどは、個々の生活習慣に合わせ支援している。本人の馴染みの理美容院で希望に合わせたカット、毛染めをしてもらえるように連携をとっている | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 苑庭で作っている野菜の皮むきなどしてもらいそれを食材とした献立にして対応している。昼食は同じテーブルを囲み楽しんで食事できるよう雰囲気づくりも大切にしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 普段から利用者の好みや習慣、様子を把握しながら体調や運動量、体重の増減、食事のタイミング、トロミの使用など介助方法や食器の工夫など一人ひとりに対応している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自分で出来る方は声かけして、できない方は毎食後のうがいや歯磨きを支援して嚥下障害による肺炎防止に努めている | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄チェック表を使用して尿意のない利用者にも間隔を見て、トイレ誘導することにより、トイレで排泄できるように支援している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄パターンを記録し、牛乳やヨーグルトなどで十分な水分補給と繊維質の多い食材を使用した献立を提供している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | その日の体調や気分を表情から汲み取るようにしている. 拒否される方に対しては言葉かけや対応の工夫やチームプレイなどによって人ひとりに合わせた支援を試みている | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | なるべく日中に活動をレク参加などにより生活リズムを整えている。又、寝付けないときは添い寝をしたり暖かい飲み物などを提供している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 毎回受診時の薬事情は個人ファイルにして保管してあり全職員がわかるようにしている。処方の変更があった場合はおこり得る副作用、状況の変化を記録して看護師、医師に提供している | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 食事の前後のテーブル拭き、下膳やお盆拭き、野菜のそうじ、皮むき、苑庭の草とりなど利用者の経験や知恵を発揮できる場面を作っている | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 本人のその日の状態をみながら講演会や地域の祭り、外食の外出など気分転換やストレス発散、地域との繋がりが維持されるように支援している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>自分で管理できる利用者は、小額を所持してもらい買い物の支払いは支援している。お金のある安心感、満足感があるようにしている</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>会話の中で家族の心配が伺われる時は電話し話して頂いている</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>天気の良い時はテラスやあずまやで日光浴やお茶会などして生活感や季節感を味わえるように支援している</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>テーブル、ソファ、畳敷きのスペース等各自おもい思いの場所で過ごせるように配置に配慮している。季節の花など飾り家庭的な雰囲気を持てるように支援している</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(もみじユニット) | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 馴染みの物を利用することが利用者が安らぎを得ることを家族にも理解して頂き可能な限り鏡、時計、タンス、ベッドなど持ってきて頂き自宅と変わらない環境作りに努めている | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 状態が変わり新たな混乱や失敗が生じたときはその都度、職員間で話しあい本人の不安、混乱原因を出来るだけ取り除き安全な生活が送れるように支援している | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |